

財務諸表に対する注記

1.重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

- ・満期保有目的の債券・・・ 購入時の取得価額によっている。(償却原価法については、取得価額と債券金額との差額について重要性に乏しいため、適用していない。)
- ・その他の有価証券・・・・・・・ 時価のあるものについては、決算日の市場価額等に基づく時価法(売却原価は、移動平均法)によっている。

(2) 固定資産の減価償却の方法

- ・鉄道駅移動円滑化施設、建物附属設備、工具器具備品及びソフトウェア・・・・定額法によっている。

(3) 引当金の計上基準

- ・賞与引当金・・・・・・・・・ 職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に帰属する額を計上している。
- ・退職給付引当金・・・・・・・ 職員の退職給付の支給に備えるため、期末自己都合要支給額に相当する金額を計上している。
- ・役員退職慰労引当金・・・・ 役員の退職慰労金の支給に備えるため、内規に基づく期末要支給額を計上している。

(4) キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲

キャッシュ・フロー計算書における資金(現金及び現金同等物)は、手許現金、随時引き出し可能な預金及び容易に換金可能であり、かつ、価値の変動について僅少なリスクしか負わない取得日から3ヶ月以内に償還期限の到来する短期投資からなっている。

(5) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2.基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	15,962,490,200	0	3,056,657,500	12,905,832,700
定期預金	2,037,509,800	0	1,943,342,500	94,167,300
小 計	18,000,000,000	0	5,000,000,000	13,000,000,000
特定資産				
鉄道駅移動円滑化施設	29,241,164,370	0	2,094,689,862	27,146,474,508
退職給付引当資産	56,307,800	8,384,800	0	64,692,600
役員退職慰労引当資産	11,281,800	3,776,000	11,281,800	3,776,000
減価償却引当資産	11,910,565	372,941	0	12,283,506
運用目的特定資産	0	5,131,255,158	0	5,131,255,158
財政安定化資産	349,201,000	0	590,000	348,611,000
日本財団事業準備金	80,227,341	220,000,000	242,250,729	57,976,612
小 計	29,750,092,876	5,363,788,899	2,348,812,391	32,765,069,384
合 計	47,750,092,876	5,363,788,899	7,348,812,391	45,765,069,384

(注1) 基本財産の当期減少額は、基本財産180億円のうち50億円を平成30年3月理事会の決議、その後の3月評議員会の承認を経て同年4月に運用目的特定資産に組み入れたものである。

(注2) 鉄道駅移動円滑化施設の当期減少額は、減価償却、JR北海道大麻駅ほか6駅施設一部譲渡に伴うものである。

(注3) 運用目的特定資産の当期増加額は、上記(注1)の運用目的特定資産の組み入れ及び特定資産評価損益等131,255,158円(一般正味財産増減の部10,496,000円、指定正味財産増減の部120,759,158円)によるものである。

(注4) 財政安定化資産の当期減少額は、特定資産評価損益等590,000円によるものである。

3.基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
投資有価証券	12,905,832,700	(12,705,832,700)	(200,000,000)	—
定期預金	94,167,300	(65,008,227)	(29,159,073)	—
小 計	13,000,000,000	(12,770,840,927)	(229,159,073)	—
特定資産				
鉄道駅移動円滑化施設	27,146,474,508	(16,047,439,303)	(0)	(11,099,035,205)
退職給付引当資産	64,692,600	(0)	(0)	(64,692,600)
役員退職慰労引当資産	3,776,000	(0)	(0)	(3,776,000)
減価償却引当資産	12,283,506	(0)	(12,283,506)	—
運用目的特定資産	5,131,255,158	(3,220,759,158)	(1,910,496,000)	—
財政安定化資産	348,611,000	(0)	(348,611,000)	—
日本財団事業準備金	57,976,612	(57,976,612)	(0)	—
小 計	32,765,069,384	(19,326,175,073)	(2,271,390,506)	(11,167,503,805)
合 計	45,765,069,384	(32,097,016,000)	(2,500,549,579)	(11,167,503,805)

4.固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
鉄道駅移動円滑化施設	52,888,036,720	25,741,562,212	27,146,474,508
建物附属設備	8,711,339	5,855,952	2,855,387
工具器具備品	8,064,518	6,033,804	2,030,714
ソフトウェア	6,920,390	393,750	6,526,640
合 計	52,911,732,967	25,753,845,718	27,157,887,249

5.満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位:円)

種 類	帳簿価額	時 価	評価損益
国債(14銘柄)	7,642,125,700	8,910,838,000	1,268,712,300
地方債(5銘柄)	599,608,000	707,560,000	107,952,000
社債(16銘柄)	4,664,099,000	5,290,500,000	626,401,000
合 計	12,905,832,700	14,908,898,000	2,003,065,300

6.補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	前期末 残高	当期 増加額	当期 減少額	当期末 残高	貸借対 照表上 の記載 区分
補助金						
鉄道駅移動円滑化施設整備事業費補助金	国土交通省	8,373,324,392	0	613,433,120	7,759,891,272	
地方公共団体補助金等	各地方公共団体	8,933,953,360	0	646,405,329	8,287,548,031	
小 計		17,307,277,752	0	1,259,838,449	16,047,439,303	
助成金						
日本財団事業助成金	日本財団					指定 正味 財産
平成28年度分		1,302,470	0	1,302,470	0	
平成29年度分		78,924,871	0	77,693,000	1,231,871	
平成30年度分		0	220,000,000	163,255,259	56,744,741	
小 計		80,227,341	220,000,000	242,250,729	57,976,612	
合 計		17,387,505,093	220,000,000	1,502,089,178	16,105,415,915	

7.指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	金 額	うち国庫補助金	うち地方公共団体 補助金	うち日本財団 事業助成金
経常収益への振替額				
減価償却費計上による振替額	1,238,274,624	602,736,398	635,538,226	—
事業実施による指定解除額	240,948,259	—	—	240,948,259
日本財団助成金返還による指定解除額	1,302,470	—	—	1,302,470
小 計	1,480,525,353	602,736,398	635,538,226	242,250,729
経常外収益への振替額				
固定資産売却損計上による振替額	21,563,825	10,696,722	10,867,103	—
小 計	21,563,825	10,696,722	10,867,103	—
合 計	1,502,089,178	613,433,120	646,405,329	242,250,729

8.キャッシュ・フロー計算書の資金の範囲

現金及び現金同等物の期末残高と貸借対照表に掲載されている金額との関係は以下のとおりである。

前期末	当期末
現金預金勘定 210,593,807円	現金預金勘定 258,045,529円
預入期間が3ヶ月を超える定期預金 — 円	預入期間が3ヶ月を超える定期預金 — 円
現金及び現金同等物 210,593,807円	現金及び現金同等物 258,045,529円

9.その他

(1)貸借対照表関係

運用目的特定資産は、基本財産180億円のうち50億円を平成30年3月理事会の決議、その後の3月評議員会の承認を経て同年4月に組み入れたものである。

(2)正味財産増減計算書関係

- ・日本財団助成金返還額は、平成28年度日本財団海上交通バリアフリー施設整備推進事業の未執行額である。
- ・鉄道駅移動円滑化施設売却損は、JR北海道大森駅ほか6駅施設一部譲渡に伴うものである。

(3)引当金の明細

引当金の明細は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	10,990,889	11,126,939	10,990,889	0	11,126,939
退職給付引当金	56,307,800	8,384,800	0	0	64,692,600
役員退職慰労引当金	11,281,800	3,776,000	11,281,800	0	3,776,000